



第1学年 音楽科 年間学習指導計画				学習指導要領の内容との関連																	
扱い月	扱い時数 合計 68	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A 表現				B 鑑賞			〔共通事項〕								
						歌唱				器楽				音楽づくり		鑑賞			ア	イ	
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ			
4	6	1. うたで なかよしく なろう	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする 楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関 心をもつ。	・みんなで いっしょに うたって、ともだちをつくりましょう。	うたで さんぽ	●	●												速度 強弱 拍の流れ 問いと答 え		
				・ともだちと いっしょに なかよく うたいましょう。	ぞうさんの さんぽ	○	●														
				*みんなで あそびながら たのしく うたいましょう。	てと てで あいさつ	○	●														
5	5	2. はくを かんじて あそぼう	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり 聴いたりして、拍の流れを感じ取る。	・おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。	♪さんぽ										●	○	○	リズム 拍の流れ フレーズ 問いと答 え			
				・はくを かんじながら なまえあそびを しましょう。	なまえあそび	○								●							
				*はくに のって、 からだを うごかしながら うたいましょう。	◎かたつむり	●	●	○	○												
6	12	3. はくを かんじて リズムを うとう	●歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れ を感じ取る。 ●リズムの違いに気付き、拍の流れを感じ取っ て簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う 言葉を選び組み合わせて表現したりする。	・[たん たん たん ・ ] の リズムを うちましょう。	じゃんけんぼん	○	○			●	●	○						音色 リズム 強弱 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答 え			
				・[たん たん たん たん たん たん たん ・ ] の リズムを うちましょう。	みんなで あそぼう	○		○		●	○	●									
				・[たん ・  たん ・  たん たん たん ・ ] の リズムを うちましょう。	♪しろくまの ジェンカ	●	○			●	●	○				●	●		○		
7	12	3. はくを かんじて リズムを うとう	●歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れ を感じ取る。 ●リズムの違いに気付き、拍の流れを感じ取っ て簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う 言葉を選び組み合わせて表現したりする。	・[たん たん たん ・  たた たた たん ・ ] の リズムを うちましょう。	ぶん ぶん ぶん	○	○			●	●	●						音色 リズム 強弱 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答 え			
				・ことばを つかって おんがくをつくりましょう。	☆ことばで リズム									●	●						
				*うたに あわせて、 からだを うごかしながら うたいましょう。	◎うみ	○	●	●	○												
9	10	4. どれみで うたったり ふいたり しよう	●階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びを したりして、階名に親しむ。 ●鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身 に付けたり、きれいな音に気付いて聴いたり する。	・けんばんハーモニカを ふきましよう。	♪みつばちの ぼうけん										○	●	○	音色 旋律 拍の流れ 問いと答 え			
				・どと その いちを おぼえましよう。	たのしく ふこう	○				●	●										
				・どれみの いちを おぼえて ふきましよう。	どんぐりさんの おうち	●				●	●	○									
10	10	4. どれみで うたったり ふいたり しよう	●階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びを したりして、階名に親しむ。 ●鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身 に付けたり、きれいな音に気付いて聴いたり する。	・どれみふあその いちを おぼえて ふきましよう。	どれみで あいさつ	●				●	●							音色 旋律 拍の流れ 問いと答 え			
				・どれみふあその いちを おぼえて ふきましよう。	どれみの まねっこ					●	○										
				・おとの たかさを たしかめながら どれみで うたいましよう。	なかよし	●		○	●	●	○										
11	6	5. ようすを おもいうかべよう	●楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴 いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の 気分合った表現を工夫して歌う。	・こねこたちが おどって いる ようすを おもいうかべながら ききましよう。	♪おどる こねこ										●	○	●	音色、速度 旋律、強弱 拍の流れ 反復			
				*はくに のって、 のびのびと うたいましよう。	◎ひのまる	○	●	●	○												
				・かしたを たいせつに して うたいましよう。	はる なつ あき ふゆ	○	●	●	○												
12	9	6. いろいろな おとを たのしもう	●身近な楽器の音色の特徴を感じ取り、演奏の 仕方や楽器の音色に興味・関心をもって演奏 したり音楽をつくったりする。 ●楽器の特徴的な音色を感じ取り、楽曲のよさ や面白さに気付いて聴く。	・みみを すまして いろいろな おとを ききましよう。	♪シンコペーテッド クロック										●	●	●	音色 リズム 強弱 反復 問いと答 え			
				・ほしぞらの ようすに あう おとで えんそうましよう。	きらきらぼし	●	●	○	○	●	●	●	○								
				・いろいろな おとを みつけて ならましよう。	おとさがし					●	●		○								
1	2	7. にほんの うたを たのしもう 平 国 才	●友達と一緒に歌ったり音楽に合わせて体を 動かしたりして、日本に伝わるわらべうたの 楽しさを感じ取る。	・わらべうたを きいたり うたったり しましよう。	♪さんちゃんが／おおなみ こなみ	●									●	○		速度 旋律 拍の流れ			
				・わらべうたを うたって たのしみましよう。	おちやらか ほい	○			●												
				・たがいの こえを ききあいながら うたいましよう。	やまびこ ごっこ	●	●	●	●												
2	12	8. おとを あわせて たのしもう	●互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ち を合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いに気付き、拍の流れやフレー ズを感じ取りながら楽しんで聴く。	・うたごとと がっきの おとを あわせて えんそうましよう。	☆やまびこあそび										●			音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答 え			
				・たがいの がっきの おとを ききながら えんそうましよう。	とんくるりん ばんくるりん	●	○	○	○	●	○	●	●								
				・おんがくを たのしみながら ききましよう。	こいぬの マーチ	●	○	○	○	●	●	●	●								
年間	6	巻末	うたいつごう にほんの うた 平	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	たなばたさま／おしょうがつ／ うれしい ひなまつり	●	●	○	○									全般			
				みんなて たのしく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	[うたで さんぽ] おつかい ありさん／ちゅうりっぷ／ ちょうちょう／ぞうさん／めだかの がっこう／ことりの うた／こぶたぬ きつねこ／こいのぼり／いぬの おま わりさん あいあい おちやらか ほい どれみで のぼろう	●	●		●											
						[国歌] きみがよ 平	●	●	●	●											

●…主となる内容 ○…関連する内容

2学年 音楽科 年間学習指導計画				学習指導要領の内容との関連																
扱い月	扱い時数 合計 70	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現						B鑑賞			〔共通事項〕					
						歌唱				器楽		音楽づくり		鑑賞			ア	イ		
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ		
4	5	1. うたでともだちのわをひろげよう	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関心をもつ。	・みんなで いっしょに うたって、気持ちよく あいさつを しましょう。	メッセージ	○	●		○									リズム 強弱 拍の流れ 問いと答え		
				・あそびうたを きいたり うたったり しましょう。	♪ロンドンばし／小犬の ビンゴ	●										●				
5	10	2. はくの まとまりを かんじとろう	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり聴いたりして、拍のまとまりや拍子の違いを感じ取る。	・2びょうしを かんじながら うたいましょう。	はしの 上で	○	●	○	○									音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ		
				・2びょうしを かんじながら ききましょう。	♪トルコ こうしんきょく										●	●	●			
6	8	3. 音の たかさの ちがいを かんじとろう	●音の高さの違いに気付き、声の出し方や発音を工夫して即興的な音遊びをしたり、楽器で旋律遊びをしたりする。 ●音の高さに気を付けながら、階名で模唱や暗唱をしたり、鍵盤楽器で演奏したりする。	・いろいろな こえで、かえるの なきごえや ようすを あらわしましょう。	☆かえるの 音あそび									●	○			音色 リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え		
				・うたったり ひいたり しながら、音の たかさを おぼえましょう。	かえるの がっしょう	●	○	●	●	●		●	●							
7	8	3. 音の たかさの ちがいを かんじとろう	●音の高さに気を付けながら、階名で模唱や暗唱をしたり、鍵盤楽器で演奏したりする。	・音の たかさに 気を つけながら、きいたり うたったり しましょう。	♪ドレミの うた	●		●								●		音色 リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え		
				・音の たかさを たしかめながら、うたったり ひいたり しましょう。	ドレミの まねっこ	●		○												
9	9	4. ひょうしを かんじて リズムを うとう	●拍子を感じ取りながら、リズム伴奏にのって歌ったり演奏したりする。 ●リズム譜に親しみ、簡単なリズムを演奏したり、反復を生かしたリズムをつくったりする。	・2びょうしを かんじながら、  の リズムを うちましょう。	この 空 とぼう	○	○		○	●	○	●	●					リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復	4分音符 4分休符 8分音符 8分休符	
				・3びょうしを かんじながら、  の リズムを うちましょう。	いるかは ざんぶらこ	○	○		○	●	○	●	●							
10	8	5. いろいろな 音を 楽しもう	●身近な楽器の音色の特徴を感じ取りながら音楽を聴いたり、音色の組合せを工夫しながら表現したりする。 ●楽器の音色の違いを感じ取り、演奏の仕方を工夫して選んだリズムで問いと答えを生かしながら音楽をつくる。	・いろいろな 音の 中から すきな 音を さがしましょう。	♪だがつき パーティー											●	●	○	音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ 問いと答え	2分音符
				・がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。	☆がっきで おはなし								●	●	●					
11	8	5. いろいろな 音を 楽しもう	●身近な楽器の音色の特徴を感じ取りながら音楽を聴いたり、音色の組合せを工夫しながら表現したりする。 ●楽器の音色の違いを感じ取り、演奏の仕方を工夫して選んだリズムで問いと答えを生かしながら音楽をつくる。	・いろいろな 音を かさねて 楽しみましょう。	かぼちゃ	○	○	○	●	●	●	●	●						音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ 問いと答え	
				*いろいろな 虫たちが ないて いる ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	◎虫の こえ	○	●	●	○											
12	9	6. ようすを おもいうかべよう	●楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の気分合った表現を工夫して歌う。	・人形の ようすを おもいうかべながら ききましょう。	♪人形の ゆめと 目ざめ											●	●	●	音色 速度 旋律 強弱 拍の流れ フレーズ 反復	
				*きれいな タヤけの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	◎タヤけこやけ	○	●	●	○											
1	3	7. 日本の うたを 楽しもう [平] [国] [才]	●日本に伝わるわらべうたの楽しさやよさを感じ取りながら、聴いたり歌ったりする。 ●わらべうたの特徴を感じ取り、音を選んで伴奏の旋律をつくる。	・わらべうたを きいたり うたったり しましょう。	♪ずいずい ずつころばし／あんたがた どこさ	●										●		○	リズム 旋律 拍の流れ 反復	
				・わらべうたに あう ばんそうを つくって 楽しみましょう。	なべ なべ そこ ぬけ	●			○											
2	13	8. 音を あわせて 楽しもう	●互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いや旋律の特徴に気付き、いろいろな音を合わせる楽しさを感じ取りながら聴く。	・いろいろな がっきの 音を 楽しみながら ききましょう。	♪こうしんきょく											●	●	●	音色 リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え	
				・たがいの こえを ききあいながら うたいましょう。	どこかで	○	●	●	●											
3	13	8. 音を あわせて 楽しもう	●互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いや旋律の特徴に気付き、いろいろな音を合わせる楽しさを感じ取りながら聴く。	・うたごとと がっきの 音を ききあいながら えんそうしましょう。	ぶっかり くじら	●	●	○	●	●	○	●	●						音色 リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え	
				・うたごとと がっきの 音を あわせて えんそうしましょう。	こぐまの 二月	●	●	○	●	●	○	●	●							
年間	5	巻末	うたいつごう 日本の うた [平]  みんなで 楽しく	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夕日／とんぼの めがね／シャボン玉	○	●	●	○										全般	
				各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	手のひらを たいように あの 青い 空のように／はるの まきば あえて よかった アイアイ	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○		
						[国歌] きみがよ [平]	●	●	●	●										

●…主となる内容 ○…関連する内容

第3学年 音楽科 年間学習指導計画				学習指導要領の内容との関連																
扱い 月	扱い 時間 合計 60	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞				【共通事項】						
						歌唱		器楽		音楽 づくり		鑑賞		ア	イ					
年間	2	巻頭	音楽プリズム 心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	リコーダーのなかま／♪ナイチンゲール	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ			
4 5	8	1. 明るい歌声を ひびかせよう	●ハ長調の楽譜に親しみ、音程に気を付けて階名で視唱したり、視奏したりして、読譜に慣れる。 ●自然で無理のない歌い方に親しみ、友達と一緒に歌う楽しさを味わう。	・音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。	友だち	○	●	○	○							○	○	音色 旋律 強弱 音階 拍の流れ フレーズ	ト音記号 五線と加線 縦線 終止線 ブレス	
				*音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。 階名でも歌ってみましょう。	◎春の小川	●	●	●	○											
				・楽器といっしょに明るい声で歌いましょう。	海風きって ☆せんりつづくり	●	○	○	●	●	○	○	●			○	○			
6 7	9	2. リコーダーと なかよしく なるよう	●リコーダーに親しみながら、その音色を感じ取ったり、基本的な演奏の仕方を身に付けたりする。	・リコーダーに親しみましょう。	♪小鳥のために										○	○	音色 旋律 音の重なり 拍の流れ	付点2分音符 4分の4拍子 付点4分音符		
				・きれいな音でふきましょう。	ステップ1・2・3／小さな花				●	○	●									
				・歌に合わせてリコーダーをふきましょう。	とどけよう このゆめを ♪きらきら星	○	○	○	●	●	○	●	●			●			○	○
9 10	6	3. 拍のながれに のって リズムを かんじとろう	●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れのよさに表現する。 ●反復や変化などの音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる。	・曲のかんじを生かしてえんそうしましょう。	ゆかいな木ん	●	○	○	●	●	●	●	●					音色 リズム 旋律 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化	4分の2拍子	
				・くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう。	☆手拍子でリズム										○	●				
				*日本に古くからつたわの歌のふんいきをかんじとりながら歌いましょう。	◎うさぎ	○	●	●	○											
10 11	9	4. せんりつ の とくちょうを かんじとろう	●旋律の特徴を感じ取りながら、曲想とその変化を感じ取って聴いたり、楽曲を聴いて感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりする。 ●旋律の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現を工夫しながら、思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。	・せんりつ音の上がり下がりにつけてえんそうしましょう。	あの雲のように	○	●	●	●	●	○	●					音色 リズム 旋律 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 変化	4分の3拍子 タイ		
				・せんりつ音の上がり下がりやリズムに気をつけてききましょう。	♪メヌエット										●	●			●	
				・せんりつ音のよさをかんじとってふきましょう。	山のボルカ				●	●	●	●								
12	9	5. いろいろな 音のひびきを かんじとろう	●楽器の音の特徴や音色の違いを生かして、イメージに合う音を即興的に表現したり、反復などの音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくったりする。 ●楽器の音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、互いの楽器の音を聴いて音を合わせて演奏したり、楽曲の構造に気を付けて聴いたりする。	・「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。	おかしなすきな まほう使い	○	●	○									音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ 反復 問いと答え 変化			
				・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆まほうの音楽									●	●					
				・重なり合う楽器の音のひびきをかんじとりながらえんそうしましょう。	パフ	○	○	○	○	●	○	●	●			●			●	○
1 2	4	6. 日本の音楽に 親しもう [平] [国] [団]	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、お囃子の音楽を聴いたり旋律をつくったりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。	・日本の楽器の音に親しみましょう。	♪神田囃子／花輪ばやし／小倉祇園太鼓										●	○	●	音色 リズム 速度 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 変化		
				・3つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆ラドレの音でせんりつづくり									○		●				
3	7	7. 音を合わせて 楽しもう	●旋律や音が重なり合う面白さに関心をもち、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて演奏する。 ●旋律の重なりや強弱の変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。	・せんりつ音が重なり合うおもしろさをかんじとりましょう。	歌おう 声高く	○	○	○	●							○	●	●	音色 旋律 強弱 音の重なり 反復 変化	
				・合奏のゆたかなひびきを楽しみましょう。	♪かね エーデルワイス								●	●	●	●				
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌 [平] みんなで楽しく	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	どこかで春が／ゆりかごの歌／七つの子	●	●	●	○									全般		
				各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	ちびっこカウボーイ 帰り道 ゴー ゴー ゴー きょうりゅうとチャチャチャ こころパレット 春はワクワク また あそぼ よろこびの歌 ミッキーマウス マーチ	○	●	●	○											
						[国歌] 君が代 [平]	●	●	●	●										

●…主となる内容 ○…関連する内容

第4学年 音楽科 年間学習指導計画				学習指導要領の内容との関連												
扱い月	扱い時数合計60	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞			〔共通事項〕			
						歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	ア	イ					
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ		
年間	2	巻頭	音楽プリズム		自然と音											
			心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教育	子どもの世界	○	○	○	●							
4	7	1. 明るい歌声をひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて階名で視唱したり、視奏したりしてハ長調の楽譜の読譜に慣れたり、呼吸や発音の仕方に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌ったりする。 ●歌声の掛け合いや重なりに気を付けて聴き、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。	・音の高さに気を付けて、明るい声で歌いましょう。	いいこと ありそう	●	○	●	○	○					音色、リズム 旋律 音の重なり 音階、調 フレーズ 問いと答え	付点8分音符 16分音符
				・2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらききましょう。	♪パパゲーノとパパゲーノの二重唱											
5	8	2. 拍の流れによってリズムを感じ取ろう	●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れによって表現する。 ●リズムの組合せを工夫したり、反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組みを生かしたりして言葉のリズムアンサンブルをつくる。	・リコーダーと合わせて、明るい声で歌いましょう。	歌のにじ	●	○	●	●	●	○	○				
				・拍の流れによって、歌と打楽器を合わせてえんそうしましょう。	いろいろな木の実	○	○	○	●	●						
6	7	3. せりつのとくちょうを感じ取ろう	●旋律の特徴にふさわしい歌い方や演奏の仕方を身に付け、曲想にふさわしい表現を工夫しながら思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。 ●旋律の特徴や曲想を感じ取りながら音楽を聴き、感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。	・くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆言葉でリズムアンサンブル											
				*歌詞から情景を思いうかべて、のびやかな声で歌いましょう。 階名でも歌ってみましょう。	◎まきばの朝	●	●	●	○							
9	8	4. せりつのとくちょうを感じ取ろう	●楽器の音の特徴や音色の違い、旋律の特徴を感じ取りながら聴いたり、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて音を合わせて演奏したりする。 ●楽器の音の特徴や音色の違いを生かして、音の組合せを工夫して演奏したり、音の重ね方や反復を生かしてまとまりのある音楽をつくったりする。	・6拍子を感じながら歌いましょう。	風のメロディー	●	●	○	○							
				・せりつのとくちょうにふさわしいふき方でえんそうしましょう。	陽気な船長／せいじやの行進											
10	7	5. いろいろな音のひびきを感じ取ろう	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、民謡を聴いたり表現したりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。 ●日本の旋律の特徴を感じ取り、音を音楽に構成する過程を大切にしながらまとまりのある旋律をつくる。	・せりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	ゆかいに歩けば	○	●	●	●							
				*せりつと音の上がり下がりを感じ取って、強さをくふうしながら歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎とんび	●	●	●	○							
11	9	6. 日本の音楽に親しもう 〔平〕〔国〕〔才〕	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏したり、曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴いたりする。	・フルートとクラリネットのひびきに親しみましょう。	♪メヌエット／クラリネット ポルカ											
				・音の組み合わせを考えて、歌と合わせてえんそうしましょう。	音のカーニバル	○				○	●	○	●			
12	7	7. 曲の気分を感じ取ろう	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、民謡を聴いたり表現したりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。 ●日本の旋律の特徴を感じ取り、音を音楽に構成する過程を大切にしながらまとまりのある旋律をつくる。	・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆打楽器の音楽											
				・ゆたかなひびきを味わいながらえんそうしましょう。	茶色の小びん	○				●	●	●	●			
1	2	7	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、民謡を聴いたり表現したりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。 ●日本の旋律の特徴を感じ取り、音を音楽に構成する過程を大切にしながらまとまりのある旋律をつくる。	・音楽のとくちょうを感じ取りながら、日本の民謡をききましょう。	♪ソーラン節／南部牛追い歌 ♪トラジ打令／小さな淡黄色の馬											
				・日本の音楽のふんいきを感じ取ってえんそうしましょう。	こきりこ	○	●	●	○	○	●	○	○			
2	3	6	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏したり、曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴いたりする。	・5つの音で、おはやしのせりつをつくりましょう。	☆ミソラドレの音でせりつづくり											
				*日本語の美しさや日本のせりつを感じを生かして歌いましょう。	◎さくら さくら	○	●	●	○							
3	6	7	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏したり、曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴いたりする。	・曲の気分を感じ取ってえんそうしましょう。	赤いやねの家	○	●	●	○							
				・音楽が表している様子を思いうかべながらききましょう。	オーラ リー					●	●	●	●			
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌 〔平〕  みんなで楽しく	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	みかんの花さくおか／せいくらべ／ みどりのそよ風	●	●	●	○							
				各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	友達 シンド バッド 冬の歌 いつだって！ 林の朝 チャレンジ！ クラッピング ファンタジー 第7番(楽しいマーチ) チキ チキ バン バン	○	●	●	○	●	●	●	●			
						〔国歌〕君が代 〔平〕	●	●	●	●						

●…主となる内容 ○…関連する内容

第5学年 音楽科 年間指導計画				学習指導要領の内容との関連																		
扱い月	扱い時数 合計 50	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞			〔共通事項〕									
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ					
年間	2	巻頭	音楽リズム 心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	音の力 Believe	○	●	●	●													
4	3	1. ゆたかな歌声を ひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて視唱したり、曲想を生かしながら自然で無理のない歌い方で歌ったりする。	・曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。 *曲の感じを生かして、明るくひびきのある声で歌いましょう。	すてきな一歩 ◎こいのぼり	●	●	●	●										音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり フレーズ 変化			
5	11	2. いろいろな 音のひびきを 味わおう	●楽器の音の特徴や音色の違い、旋律と旋律、旋律と伴奏が重なり合う響きを味わって聴いたり、演奏したりする。 ●楽器の音色や音が組み合わさる響き、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくり演奏したりする。	・リコーダーの音が重なり合うひびきを感じながら演奏しましょう。	小さな約束					●	●	●	●						音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 音階 調 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化 音楽の縦と横 の関係			
6				・歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	いつでもあの海は	○	●	●	●												アクセント へ音記号	
7				・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら演奏しましょう。	リボンのおどり (ラ バンパ)	○		●	●	●	●											
				・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。 ・打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。	♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章 ♪双頭のわしの旗の下に ☆リズムを選んでアンサンブル										●	●						
9	4	3. 和音の美しさを 味わおう	●I、IV、Vなどの和音の違いを感じ取って演奏したり、和音の響きの変化を感じ取って歌ったりする。	・和音の移り変わりを感じながら演奏しましょう。 ・和音の移り変わりを感じながら合唱しましょう。	静かにねむれ こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore)	●	○	○	○	●	○	○	●						旋律 音の重なり 和声の響き	全音符		
10	7	4. 曲想を味わおう	●言葉の感じや曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する。 ●曲想とその変化を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。	・曲想の移り変わりを感じ取りながらききましょう。	♪威風堂々 第1番					○	○	○	○						音色、リズム 速度、旋律 強弱 音の重なり 和声の響き 拍の流れ フレーズ 反復、変化 問いと答え 音楽の縦と横の関係	フラット ナチュラル		
11				・言葉の感じや曲想を生かして歌いましょう。 ・曲想を生かして合奏しましょう。	まっかな秋 キリマンジャロ	○	●	●	○													
12	4	5. 詩と音楽を 味わおう	●言葉の感じと旋律とが一体となって生み出す日本歌曲の美しさを味わいながら聴いたり、歌ったりする。	・日本語の言葉の感じを生かした歌曲を楽しみましょう。 *歌詞の表す情景を思いうかべながら、強弱記号に気をつけて歌いましょう。 *旋律の音の上がり下がりやリズムの特徴を生かして歌いましょう。	♪山田耕筰の歌曲 (待ちぼうけ/赤とんぼ/この道) ◎冬げしき ◎スキーの歌	○	●	●	●										音色 リズム 速度、旋律 強弱 フレーズ 反復、変化			
1	5	6. 日本と世界の 音楽に親しもう [平] [国] [才]	●日本や世界の国々の音楽のよさや、声や楽器の響きの美しさを味わい、それらの特徴を感じ取って聴く。 ●日本の旋律のもつ特徴や美しさを感じ取りながら歌ったり、音楽の仕組みを生かしながら見通しをもって日本の音階の音で旋律をつくり出す。	・和楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。 *日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。	♪春の海 ◎子もり歌					●	●	○	○						音色 リズム 旋律 音階 音階 拍の流れ 反復 問いと答え 変化	スラー		
2				・日本の音階を使って旋律をつくりましょう。 ・声による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	☆音階の音で旋律づくり ♪声による世界の国々の音楽																	
3	8	7. 心をこめて 表現しよう	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	・曲想を生かして表情ゆたかに演奏しましょう。 ・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	小さな鳥の 小さな夢 失われた歌 大空がむかえる朝/ほたるの光	○	●	●	○					●	●	●	●		音色、旋律 強弱 音の重なり 調 拍の流れ フレーズ 変化 音楽の縦と横の関係			
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌 [平]	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	海/ちいさい秋みつけた	○	●	●	○										全般			
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	ありがとうの花 南風にのって 世界がひとつになるまで つばさをだいて A good day アリラン/まつり花 クラッピング ファンタジー 第4番 (ギャラクシー ~銀河をこえて~) 生命のいぶき ことに親しもう (さくら さくら)	○ ○ ● ● ● ● ● ○ ○	○ ○ ● ● ● ● ● ○ ○															
					[国歌] 君が代 [平]	●	●	●	●													

●…主となる内容 ○…関連する内容

第6学年 音楽科 年間学習指導計画				学習指導要領の内容との関連																		
抜 い 月	抜 い 時 数 合 計 50	題 材 名	題 材 の ね ら い	学 習 目 標	◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	A表現				B鑑賞			〔共通事項〕									
						歌 唱				器 楽				音 楽 づ く り			鑑 賞		ア	イ		
年 間	1	巻 頭	音楽リズム 心をつなぐ歌声		人をつなぐ音楽	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ				
4	5	1. 豊かな歌声を ひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて視唱したり、曲想にふさわしい歌い方を工夫して思いや意図をもって歌ったりする。	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	人をつなぐ音楽	○	●	●	○													
				・明るくひびきのある声で歌いましょう。	明日という大空	●	●	●	○												音色、リズム 速度、旋律 強弱 音の重なり フレーズ 反復、変化	速度記号
				*曲のまとまりや強さの変化に気をつけて、曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。	◎おぼろ月夜	●	●	●	●													
・曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。	星空はいつも	○	●	●	○	○		○	○													
5 6 7	8	2. いろいろな 音のひびきを 味わおう	●パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏したり、楽器の組合せから生まれる響きの美しさを味わって聴いたりする。 ●楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。	・パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏しましょう。	ラバーズ コンチェルト					●	●	●	●									
				・オーケストラのひびきを味わいながらききましょう。	♪メヌエット													●	○	音色、リズム 速度、旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化 音楽の縦と横の 関係		
				*曲想を生かして歌いましょう。	♪木星													●	●			●
				・打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくります。	◎われは海の子	○	●	●	○													
	☆リズムをつくってアンサンブル												●	●								
9 10	8	3. 和音の美しさを 味わおう	●和音の響きの変化を感じ取りながら、各声部の歌声や楽器、全体の響き、伴奏を聴いて合唱したり合奏したりする。 ●和音に含まれる音を用いて、まとまりのある旋律をつくる。	・歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	星の世界	●	○	●	●													
				・和音の移り変わりをを感じながら演奏しましょう。	雨のうた					●	●	●	●							音色、リズム 旋律 音の重なり 和声の響き 調 フレーズ 反復、変化 音楽の縦と横の 関係		
				・和音にふくまれる音を使って旋律をつくりましょう。	☆和音の音で旋律づくり											●						
11	6	4. 曲想を味わおう	●曲想にふさわしい表現を工夫し、旋律の特徴や重なり方を生かして歌ったり、パートの役割にふさわしい楽器や演奏の仕方でも演奏したりする。 ●曲想とその変化を感じ取りながら、旋律の特徴、反復や変化、強弱や速度などによる楽曲の構造を理解して聴く。	・旋律の音の上がり下がりや重なり方から、表現のしかたを考えて歌いましょう。	広い空の下で	○	●	●	●													
				・曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第5番													●	●	●	音色 リズム 速度 旋律 強弱 音の重なり 反復 変化	
				・曲想を生かして合奏しましょう。	風を切って	○				●	●	●	●									
12	6	5. 詩と音楽を 味わおう	●歌詞と旋律とが一体となって生み出す曲想を味わいながら聴いたり、思いや意図をもって歌ったりする。	・曲にこめられた思いを感じながら歌いましょう。	思い出のメロディー	○	●	●	●													
				・言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌曲を味わいましょう。	♪滝 廉太郎の歌曲(花／箱根八里)	○												●	●	●	音色 リズム 速度 旋律 強弱 音の重なり フレーズ	
				*歌詞の内容を理解して、曲想を味わいながら歌いましょう。	◎ふるさと	○	●	●	●													
1	4	6. 日本と世界の 音楽に親しもう 〔平 国 才〕	●日本に古くから伝わる歌と楽器の音色を味わって、聴いたり歌ったりする。 ●世界の国々の楽器の音色の特徴や、音楽の雰囲気の違いに気を付けて聴き、諸外国の音楽に親しむ。	*日本に古くから伝わる歌の特徴を感じ取って歌いましょう。	◎越天楽今様	●	●	●	○													
				・楽器による世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪雅楽「越天楽」から ♪楽器による世界の国々の音楽													●	○	●	音色、リズム 速度、旋律 音階 拍の流れ 反復、変化	
2 3	6	7. 心をこめて 表現しよう	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	・曲想を生かして表情豊かに演奏しましょう。	きっと届ける	○	●	●	●													
				・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	そよ風のデュエット さよなら友よ／あおげばとうとし					●	●	●	●								音色、リズム 速度、旋律、強弱 音の重なり 和声の響き、調 拍の流れ、フレーズ 反復、問いと答え 変化 音楽の縦と横の関係	
年間	6	巻 末	歌いつごう 日本の歌 〔平〕 みんなで楽しく	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夏は来ぬ／浜千鳥	●	●	●	○													
				各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	気球にのってどこまでも Wish ～夢を信じて 旅立ちの日に あすという日が この星に生まれて 歌よ ありがとう メヌエット ALWAYS 三丁目の夕日 コンドルは飛んで行く	●	●	●	●	○					●	●	●	●	○	●	●	全般
					〔国歌〕君が代 〔平〕	●	●	●	●													

●…主となる内容 ○…関連する内容











